

東京城西営業所 無事故100日達成しました！

全員の意識で繋いだ継続100日！

日々の運行の中で、乗務員一人ひとりが安全運転を徹底し、点検や声かけを継続した結果、無事故の日数を積み上げることができました。特に日数が90日を超えた頃からは、**「せっかく積み重ねた記録を絶対に途切れさせない」**という意識が営業所内に広がり、事故なく安全に運行することを最優先に取り組んできました。

運行管理者は毎日の点呼時に、安全基本方針の唱和や無事故継続日数の読み上げを行い、安全意識向上を図っています。また、運転研修を定期的を実施し、危険予測や運転技術の向上に努めています。運転手も日々の業務の中で、単独での後退を避け、必ず誘導を付けることを徹底しています。さらに、添乗員は後退時の誘導を確実に行うとともに、営業所周辺は通勤・通学の自転車や歩行者が多く行き交う地域であり、右左折時には歩行者や自転車の巻き込み確認を徹底して確認をしています。



東京城西営業所 玉造所長

無事故を続けることでお客様に安心してご利用いただけることが何より嬉しいです。これからも「安全第一」で運行し、次は200日を目標に信頼される営業所を目指します。



運行管理者や指導運転手が主体的に研修を企画し、日常点検の再確認や同乗研修を実施しています。



東京城西営業所（練馬区）1996年開所
福祉施設や学校向けの送迎バス運行
運転手添乗員62名、運行管理者6名在籍

府中本社で防災訓練を行いました



6月19日、府中本社（朝日生命府中ビル）にて防災訓練に参加しました。避難訓練では社員全員が迅速に所定の場所へ集合し、点呼確認を行い安全を確保。消火器訓練では初期消火の手順を再確認しました。また地震体験車による震度7の揺れを体感し、非常時の行動を学びました。



バス業界は多くのお客様を乗せて運行するため、災害時の冷静な対応や安全確保は極めて重要です。今後も訓練を重ね、全社員の防災意識向上に努めます。

グリーン経営NEWS

～キビしいディーゼル車規制の理由～

古いディーゼルエンジン車から排出される粒子状物質（PM）を削減するため、2003年から首都圏一都三県で条例が制定されました。

PM2.5は髪の毛の太さの30分の1以下！

このサイズでもPMは肺の奥（肺胞）まで入り込むので、健康被害が深刻な問題になっています。PMの基準は部屋の空気に塩ひとつの粒の半分くらいのコロリが混ざってる程度でも身体に悪影響を及ぼします。

条例が定めるPM排出基準を満たさない対象車両（初度登録から7年を超える車両）は、**対象自治体内での運行が全面禁止**されます。ただし、規制を満たさない車両でも、指定された「粒子状物質減少装置」（DPFなど）を装着すれば運行可能です。